

## 第1回 南魚沼市子ども・子育て会議 議事録

日 時	平成 26 年 7 月 25 日 13:30 から
場 所	南魚沼市役所 2 階 大会議室
参 加	委 員 14 名（欠席：西野、魚崎、坂西） 事務局 11 名（子育て支援課、学校教育課、子ども・若者育成支援センター）
議 題	(1) 委員紹介及び正副会長の選出 (2) 子ども・子育て支援制度の概要について (3) 子ども・子育て会議の役割について (4) 子ども・子育て支援事業計画について (5) 子ども・子育て会議のスケジュール (6) その他（情報提供）

### 1. 開会(上村課長) 13:30～

- ・本日は欠席が3名(西野様、魚崎様、坂西様)です。
- ・委員会では平成 31 年 3 月 31 日までの計画を作る。委員は 2 年間委嘱させていただいています。
- ・平成 30 年までの施設整備計画を配布させていただきました。

### 2. 市長挨拶(井口市長)

- ・子ども・子育て関連 3 法が公布され、来年 4 月から施行していく。
- ・元岩手県知事の増田寛也氏が長を務める団体が少子化について警鐘を鳴らした（「消滅する市町村 523」中央公論 6 月号）中では市町村半数以上が消滅の危機にある。南魚沼市は減少率が 48%で消滅の危機(50%)にはかろうじて陥っていない。
- ・全国の市長会や国でも少子化対策に注目が集まっている。
- ・専門的な分野+一般的な目線で適切な提言を頂いて、市の子どもが安心して暮らしていける子育て支援対策を早急に築いていかなければならない。

### 3. 委員紹介(資料1)

### 4. 正副会長の選出 13:40～

- ・南魚沼市子ども・子育て会議条例（平成 25 年 9 月 25 日条例第 35 号）において「委員の互選により定める」とされているため、事務局より選出について委員に諮った所、「事務局一任」の声があった。
- ・事務局より会長に「高橋 功 氏(新潟県地域振興局福祉課長)」副会長に「大津 政好 氏(城内小学校長)」を推薦し拍手で承認を得た。

- ・傍聴の希望があった場合は受入れることで内諾
- ・議事録を市のウェブサイトの掲載することで内諾

## 5. 子ども・子育て支援制度の概要について(資料2) 13:43～

—資料についての説明（牛木主幹）—

- ・p.6の最終段について「私立の認定こども園・保育所の場合」の「・保育所」を削除

## 6. 子ども・子育て会議の役割について(資料3) 14:00～

—資料についての説明（牛木主幹）—

- ・基準については事務局からたたき台を配布し、委員が適正かどうか検討する。
- ・保育園の定員や再編等の大きな問題についても会議の中で検討していくことになる。

## 7. 子ども・子育て支援事業計画について(資料4) 14:13～

—資料についての説明（牛木主幹）—

## 8. ニーズ調査について(資料 5-1～5-4) 14:18～

—資料についての説明（牛木主幹）—

- ・今回示したイメージは国が示したひな形で、ゴシック体は量の見込み算定に必要な質問、明朝体で書いてあるものは事業の参考にする設問。実際に配る時には市の内容に合致させわかりやすく変えていく。
- ・今回の案についての意見を資料 5-2 で 8/1 までに子育て支援課へ提出してもらい、それを踏まえた案を再度委員へ配布し確認をもらい確定するという形で進めたい。
- ・質問 病児・病後児保育は南魚沼市で実施しているのか。質問の中にわからない用語が出てくると答えづらいため、どのようにフォローするのか。  
⇒市内では大和の浦佐診療所で病児保育、六日町の野の百合保育園と塩沢のわかば保育園で病後児保育を実施している。各事業についての説明も調査票に補足する。
- ・質問 ファミリーサポートセンターについて名前を聞いたことは有るが登録とかはどこでするとかよくわかりません。  
⇒細かい説明は載せられないが調査票に概要を載せる。今までは子育て支援センターで対応していたが、今は子育て支援課で対応している。市報等で広報していますが、今後も折に触れて広報していく。
- ・資料 5-3 p.11 で子育て支援拠点事業を実施している場所の名前を載せてはどうか。  
⇒周知もできるようにデザインを検討する。
- ・資料 5-1 の調査の対象についてどれくらいの割合なのか教えてもらいたい。関連して小学生の対象はあらかじめ学校が把握しているのか、郵送した後に連絡が来るのか教えていただきたい。全学年の中での一番下の子どもなのか、抽出した中なのか。

⇒どのくらい兄弟が重なっているかわからないのであとで計算して報告する。郵送で出した場合の回収率については若干心配がある。小学校は3年生の子どもの中から各家庭1枚になる形で実施したいと思う。小学校では省かれる人の方が多くなっていくと思われる。

- ・ 郵送で送る場合は返信封筒を同封する。
  - ・ 質問調査対象はほぼ全世帯という事で考えて良いか。その場合の周知の方法はどうなり、回収率はどれくらいを想定しているか。8月では厳しい数字になるのでは？
- ⇒その年齢のいる家庭は全世帯。実施済みの市町村では関心があるからか8割以上の回答率が多い。
- ・ 小学校や幼稚園は夏休み期間なので9月にずらして回収した方が回収率も上がるのでは？
- ⇒遅らせるとスケジュールが遅れていくので、郵送で行って回収率が悪い場合は別途お願いするかもしれません。
- ・ 次世代育成支援のアンケートの集計結果は（各家庭に）報告されていないが、今回のアンケートを実施する際に保護者がどう思うのか。せめて記入した家庭には結果報告をしてはどうか。
- ⇒項目が多くて全家庭に配布となるとボリュームが多いので広報には抜粋が掲載されていた。ウェブサイトには全て公開されている。委員の皆さんにはフィードバックしている。全世帯への配布が必要となれば検討する。
- ・ 全員ではなく、配布する家庭を指定して小学校を通して配布回収は可能か。
- ⇒全員の方がやりやすいですが、説明は可能。
- ・ 事前の広報は時間的に無理ということか。
- ⇒ウェブサイトや市報にも掲載したいと思っている。
- ・ かなりボリュームがあり、記入するのが大変な印象。○付け程度ならば記入は出来るのかなと思う。

## 9. 子ども・子育て会議のスケジュール(牛木主幹)(資料6)14:53～

—資料についての説明(牛木主幹)—

- ・ 来年度もこれくらいのボリュームであるのか。
- ⇒来年度は根幹の改訂などがなければタイトなスケジュールで行うことはないと思いますが、保育について大きな検討することがあればお願いすることがあるかもしれません。
- ・ 小・中学校にも今後このような計画はあるのか。
- ⇒本日は子ども・子育て支援新制度についての会議とさせていただきましたが、学童等の子どもに関するものは連続するべきという意見もあります。今回の制度①都市部の待機児童解消②認定こども園への移行を主眼としていますが、皆さんからの意見が挙がってくれば検討も必要となる。

## 10. その他(上村課長) 15:00～

### ・ 保育園関係の情報提供

- ①公立八幡保育園は老朽化により改築の予定である。
- ②塩沢地区では新たなわかば保育園が来年度に開園する。
- ③中之島地区では埼玉に本部のあるどろんこ会が保育園を開園したという要望を昨年から受け、地元の説明をしている。
- ④六日町地区では認可外保育施設たんぼぼハウスが認可保育園を開園したいという申し出があり、併せて野の百合保育園の老朽化による改築の話がある。合併時に市民・議会・関係者で作成した「総合計画」の基本方針に「民間ができるものは民間で」と言うものが有り市としてはそれを基軸に考えなければならない。皆さんにも随時情報を提供して行く。

## 11. 閉会 15:06